

自己点検・評価報告書

平成27年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

千葉大学

国立大学法人千葉大学動物実験委員会

平成28年7月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 国立大学法人千葉大学動物実験実施規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 本学における動物実験等を適正に行うため、全学の規程として国立大学法人千葉大学動物実験実施規程が定められている。 加えて、平成27年度は、平成26年度に受検した「動物実験に関する相互検証プログラム」で指摘された「動物実験等に係る事故報告体制の整備」や「委員会による飼養保管の状況把握」に関して規程上に明文化した。また、「学長の動物実験等の適正実施のための責務」に関して規程上の文言を整理し、「学長の責務」の条項を設け、本学における動物実験等実施体制をより明確化した。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 国立大学法人千葉大学動物実験実施規程 国立大学法人千葉大学動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 国立大学法人千葉大学動物実験実施規程に基づき、動物実験計画の審査、実施状況及び結果の把握、飼養保管施設及び実験室の審査、教育訓練、自己点検・評価、情報公開、その他動物実験等の適正な実施に関して学長に報告又は助言を行う組織として、全学動物実験委員会が置かれている。 動物実験等に直接従事していない部局からも委員を選出している。また、外部委員2名が委員会に参加している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。<input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>国立大学法人千葉大学動物実験実施規程 千葉大学における動物実験の取扱いについて 千葉大学動物実験計画書 飼養保管施設設置(変更)承認申請書 実験室設置(変更)承認申請書 動物実験計画の審査フロー図 飼養保管施設・実験室の設置フロー図 動物実験(施設)体制図 平成27年度動物実験に係る年度報告及び経過・結果(終了・中止)報告並びに遺伝子組換え動物現在数調査報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)</p> <p>国立大学法人千葉大学動物実験実施規程及び諸様式等により適正に定められている。</p> <p>加えて、平成27年度は、動物実験計画書の「使用動物」欄に当該動物の遺伝子改変の有無をたずねる項目を新設したことにより、遺伝子組換え動物を扱う動物実験の判別がより明確になり、管理が容易になった。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>国立大学法人千葉大学動物実験実施規程</p> <p>国立大学法人千葉大学遺伝子組換え実験等安全管理規程</p> <p>国立大学法人千葉大学病原体等安全管理規程</p> <p>国立大学法人千葉大学化学物質管理規程</p> <p>国立大学法人千葉大学放射線障害予防規程</p> <p>国立大学法人千葉大学総合安全衛生管理機構改善措置規程</p> <p>千葉大学動物実験計画書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)</p> <p>安全管理に注意を要する動物実験については、上記諸規程により適正に定められている。</p> <p>遺伝子組換え実験及び病原体等を取扱う実験については、動物実験計画申請時に当該実験が承認されているか (申請されているか) 確認をしている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

飼養保管施設一覧

飼養保管状況報告書

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

飼養保管施設一覧により学内の全ての飼養保管施設の存在を把握するとともに、各施設に実験動物管理者を置いている。

しかし、実験動物管理者のもとでの各施設の実質的な管理体制が適正かどうかを委員会が把握していなかったことから、委員会が各施設の実質的な管理体制の把握を行うために、平成27年度に「飼養保管状況報告書」の様式を新たに定め、学内に周知した。

4) 改善の方針、達成予定時期

平成28年度中に、飼養保管状況報告書について実験動物管理者に提出を依頼し、適正な飼養保管体制が取られているかを委員会が把握し、必要に応じて実験動物管理者に対し改善の指導を行う。また、飼養保管状況報告書の提出依頼とともに、マニュアルを利用した、施設ごとの研修を行うよう周知していく。

6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>国立大学法人千葉大学動物実験実施規程 平成27年度動物実験委員会 持ち回り審議 議事要旨 平成27年度動物実験委員会 議事要旨 動物実験計画の審査フロー図 飼養保管施設・実験室の設置フロー図</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>動物実験委員会において、動物実験計画については、毎月メールにより審査を実施している。</p> <p>また、メール審査のほかに、委員が一堂に会して学内における動物実験等の体制や教育訓練などについての審議を行うとともに、特に苦痛度の高い動物実験計画 (D以上が中心) について確認を行っている。</p> <p>飼養保管施設及び実験室の設置については、申請があった際に、委員会の立入調査または写真による調査によって審査を実施している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>国立大学法人千葉大学動物実験実施規程 平成27年度動物実験委員会 持ち回り審議 議事要旨 平成27年度動物実験に係る年度報告 (動物別使用匹数・飼養匹数) 動物実験計画の審査フロー図</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>平成27年度は、377件の動物実験計画の申請があり、全件が承認された。なお、377件のうち修正等意見が付された動物実験計画の件数は251件であった。</p> <p>「平成27年度動物実験に係る年度報告」については、377件全て提出された。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料(安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする)</p> <p>国立大学法人千葉大学動物実験実施規程 国立大学法人千葉大学遺伝子組換え実験等安全管理規程 国立大学法人千葉大学病原体等安全管理規程 国立大学法人千葉大学化学物質管理規程 国立大学法人千葉大学放射線障害予防規程 国立大学法人千葉大学総合安全衛生管理機構改善措置規程 平成27年度動物実験に係る年度報告(安全管理に関する報告)</p>
<p>3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>安全管理を要する動物実験について、本学における事故は全て総合安全衛生管理機構と動物実験委員会に報告されているが、動物実験に係る事故報告件数は0件であり、安全に実施されている。</p> <p>なお、平成27年度は「事故発生時の対応」として、学長、委員会等への事故報告体制を動物実験実施規程上に定めた。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か？ 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか？)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

飼養保管施設一覧

全42ヶ所の飼養保管施設のマニュアル(標準操作手順書)

飼養保管状況報告書様式等について(通知)

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)

42ヶ所全ての飼養保管施設において、実験動物管理者の指導のもと、注意事項や飼育管理等記載されたマニュアル(標準操作手順書)が整備・保管され、当該手順書に基づき管理することとしている。

しかし、実際は、一部の小規模施設のマニュアルの記載に部分的に不備があること、飼養保管状況について委員会が定期的に確認を行っていないことなどの問題がある。

4) 改善の方針、達成予定時期

飼養保管施設におけるマニュアルは、委員会で給餌給水や飼育機材の交換等、具体的な内容を含んだひな形へと見直しを行い、全施設に再度作成を依頼する。新たに作成したマニュアルは、飼養者への周知を徹底するよう委員会から働きかける。

また、平成27年度に新たに定めた飼養保管施設における実験動物の飼養保管状況をたずねる様式である「飼養保管状況報告書」により実験動物管理者に対し飼養保管状況の報告を年1回求め、委員会が確認を行うこととしている。

これらについては、平成28年度中に行う予定としている。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の施設等は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

国立大学法人千葉大学動物実験実施規程

飼養保管施設一覧

実験室一覧

飼養保管状況報告書

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

新規設置の際には全学動物実験委員会による立入調査または写真による調査を実施しており、基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。不適切な箇所においては改善を求めその確認を行い対処している。

ただし、承認後に生じた施設の不具合についての追跡は不十分であったので、新たに定めた「飼養保管状況報告書」により定期的に報告を求めていくこととした。

4) 改善の方針、達成予定時期

設置後、適正な維持管理が実施されているか確認を行うため、施設の管理者等に「飼養保管状況報告書」及び施設・設備等の状況がわかる写真等の提出を求め、委員会で定期的に確認を行う。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>国立大学法人千葉大学動物実験実施規程 教育訓練の開催通知 教育訓練の開催記録</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>平成27年度の教育訓練については、西千葉地区2回、亥鼻地区4回、松戸地区2回の集合形式に加え、千葉大学 Moodle2015 を利用したオンライン形式(後期のみ・随時)によって実施し、合計 1,205 名が参加した。動物実験従事者には年1回の受講を義務づけており計画書審査の際に教育訓練出席者名簿で受講の有無を確認している。</p> <p>オンライン形式の教育訓練の実施によって、多忙な研究者でも教育訓練を受講しやすくなったことに加え、随時教育訓練を受講することが可能となり、全学的な動物実験実施体制の向上に繋がったと考えられる。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 千葉大学ホームページ (国立大学法人としての公表事項) 動物実験に関する自己点検・評価報告書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 自己点検・評価及び関連事項の情報公開については、平成21年度から実施している。 国動協の要請する情報公開項目については、全て対応済みである。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

本学では、基本指針で実験動物として定義されている哺乳類・鳥類・爬虫類に加えて両生類・魚類・昆虫などにおいても動物実験実施規程を準用し、計画書の提出を求めている。また、附属学校 (幼稚園・小学校・中学校) における動物飼育についても計画書を提出してもらい、附属学校教諭等への教育訓練も各附属学校園の代表者を通じて行っている。しかし、実験動物を広く定義していることにより、実験責任者・実験実施者および審査を行う委員の双方に負担がかかっていたことから、平成27年度に対象とする動物種について検討を行い、動物実験計画書において脊椎動物と無脊椎動物の取り扱いを一部区別することによって、動物実験等の手続きの円滑化を図った。
--